

幼保連携型認定こども園 西神戸 YMCA 保育園 5月えんだより

5月聖句：「野の花がどのように育つのか、注意して見なさい」

<マタイによる福音書 6章 28節>

野の花の成長を感じる新緑の季節になりました。この3月末で子育てや絵本に関する情報を72年間発信してきた月刊誌の「母の友」（福音館書店）が休刊しました。最終号の特集は創刊時のテーマでもあった「生きる」。インタビューやエッセー、詩など様々な角度から「生きる」ことを考える機会となりました。

キリスト教保育では、子どもも大人も神さまによって創造され、生命を与えられた、一人ひとりがかけがえのない存在であり、神さまの恵みの中に生かされていると考えられています。目に見えない神さまの愛を子どもたちに知らせる（伝える）のは大変難しいことですが、聖書を通して、日々の生活の中でイエス・キリストを身近に知ることによって、見えない神さまの恵みを感じ、神さまの導きを信頼して、園での生活を送ることができるようになるのです。また、キリスト教保育の目的は、神さまに愛されている自分を知り、神さまの愛に応答して生きる者となると共に、他者もまた、神さまの愛される存在であることに気づき、よき隣人として生活できるようになることです。そのような意味で、私たちも礼拝だけではなく、日々の園での生活のすべてを通して伝えていくことの大切さを学んでいます。

5月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	すこしずつ／だいじょうぶ	動き出して／なんだろう
	・保育者の祈りやさんびかにふれる。 ・安心できる大人のそばで、十分に受けとめてもらいながら過ごす。 ・祈りやさんびかに親しみ心地良よく感じる。 ・保育者に受け止めてもらい、安心して好きなあそびを見つける。	・保育者や友だちとともに祈り、賛美し、見えない神さまを感じる。 ・好きなあそびを見つける。友だちの遊びを見て心と体が動きだしやってみようとする。 ・神さまの創られた世界の中に、たくさんの恵みや不思議があることに気づき、思いを寄せる。 ・自分の好きなことやまわりのもの・ことに心をとめて感じて考え動いていく。
讃美歌	ひとりひとりのなをよんで 幼児讃美歌Ⅱ⑩	どんなにちいさなこりでも 幼児讃美歌Ⅱ⑩